

3・11から考える

2016

釣り と 環境

シンポジウム

3月20日(日) 14:00~16:30 終了後交流会

石神井公園区民交流センター

西武池袋線 石神井公園駅・北口前
電話 03-5910-3451
参加費— シンポ500円
交流会費2,000円
※お酒、つまみ持参、大歓迎です

3・11 東電福島第1原発事故から丸5年、今なお10万人余が故郷へ帰ることができていません。釣り場環境も回復していません。

また、釣り人にとって、見過ごすことのできない新たな自然環境破壊も進んでいます。

そこで、今年で3回目のシンポジウムを開催し、実態の共有と親睦を図ることにしました。ぜひ、参加して下さい。

予定されているテーマ

○3・11から5年、原発事故による実態と問題点

- 放射能、渓流魚への影響・・・大学研究者
- 避難生活5年目、その実態・・・双葉郡からの避難者
- 除染作業に従事して・・・福島県三春町から釣り好きな若者
- 放射能、子どもたちへの影響・・・ネットワークを作って調査を進めるお母さん
- 放射性物質処理場建設の問題点・・・塩谷町役場

参加自由



○釣り人から見た自然環境

- リニア新幹線建設と釣り場環境・・・現地からの報告
- どうなっているの？小国川ダム、八ツ場ダム建設
・・・ジャーナリスト
- 自然環境問題と渓流釣り・・・事務局

主催—福島県で釣りを楽しむ会 連絡先 080-3384-08801 (渡辺)

【賛同人】 松本喜一 (福島県木戸川漁協理事)・瀬畑雄三 (釣り人)・東京勤労者釣り団体連合会・練馬勤労者釣りの会・渓流9条の会・長野県上田労釣会・浦壮一郎 (フォト・ジャーナリスト)・堀内正徳 (フライの雑誌社)・岡田直紀 (京都大学教員)・岡村親宜 (溪流文庫館長・弁護士)・加藤恵司 (東京勤労者釣り団体連合会名誉会長)・八木健介、真野秋綱 (釣り人社)・相吉考顕 (日本溪流連盟相談役) (順不同)